

令和8年度 第7回定例庁議 議事報告

開催日時：令和8年10月14日（水）午後3時00分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

【進行：政策課長】

1 開会

2 市長あいさつ

市制施行記念式典などにおける挨拶の際、私が市債残高や基金残高といった財政状況に触れるのは、職員にも財政状況をはじめ、行政運営を意識して職務に当たってもらいたいという思いからである。

特に、部局長は、民間企業で言えば経営に参画する「執行役員」に相当する。自らが所管する部のみならず、市全体の行財政の状況を把握し、部下に対して的確な指示や助言を行うことで、より質の高い市民サービスの実現に向け、その職責を果たすことが求められる。

また、自らが所管する部を運営、経営しているという意識を持ち、その姿勢を部下へ伝えていくことも、部局長としての責務である。

行政運営の意識を具体化するためには、例えば水道事業において、合併当時から料金がどう推移し、決算がどう変化してきたかといった、これまでの経緯や財政状況を、正確に把握しておくことが不可欠である。これらは単なる知識ではなく、適切な行政運営の指針となり、実効性の高い施策を検討する上での重要な視点である。

部局長には、こうした視点を常に念頭に置き、市政の発展に取り組んでももらいたい。

3 協議・報告事項（議長：副市長）

(1) 人事異動基本方針について（総務部）

説明：総務部長

【説明内容】

資料に沿って説明（総務課長）

【質問意見等】

(副市長)

提出された自己申告書は、人事当局のみならず、市長も私も全て目を通してしている。適正な人事配置を行うためにも、丁寧な記述が必要であり、決して形式的な事務手続きではない。

記入に当たっては、以下の点に留意すること。

第一に、自らの「夢や希望」を積極的に書いてほしい。公務員としての理想や志を反映した、意欲的な記述を期待している。

第二に、人事において配慮が必要となる家庭の状況等の記述である。介護などの家庭事情があり、異動に際して配慮が必要な場合は、その状況を具体的に記述すること。過去には、本人が事情を伏せていたために、配置後にミスマッチが生じた例もあった。

第三に、キャリアプランについてである。特段の事情なく単に閑職を希望するなど消極的な理由や、自身の異動を安易に人事当局に一任するといった姿勢ではなく、将来目指す職員像を持ち、それに向けた自身のキャリアプランを描いた上で異動希望を出してほしい。

実際に、自らのキャリアプランを描き、特定の部署を希望し、その熱意によって配属を実現させた若手職員もいる。こうした姿勢こそが、異動希望のあるべき姿である。

部局長においては、課長を含め、部下に対し、自己申告書の趣旨と意義を改めて周知すること。

(2) 令和7年度財務書類について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長）

【質問意見等】

質問意見なし

(3) 笛吹市長期財政推計について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長）

【質問意見等】

(会計管理者)

資料5ページ、長期財政推計における歳入について、令和8年度から令和10年度まで地方債の金額が、令和11年度以降に比べて高くなっているのは、借換債の金額が含まれていることが要因か。

(財政課長)

普通建設事業費について、令和8年度66億5200万、令和9年度80億6300万、令和10年度65億5900万と見込んでいるため、これらに対する地方債の借入によって、令和11年度以降に比べて高くなっている。

(会計管理者)

普通建設事業費は、個別施設計画等を基に推計したものか。

(財政課長)

そのとおり。

令和8年9月時点の個別施設計画及び長寿命化計画を踏まえて試算している。

4 その他

※令和8年度第1回随時庁議

10月30日(金) 午後1時15分～ 本館3階302会議室

※令和8年度第8回定例庁議

11月12日(木) 午後1時15分～ 本館3階302会議室

5 閉会

午後3時45分 閉会